

# 平成 25 年度フードバレーとたち人材育成事業 事業報告～概要版～

## ○事業経緯

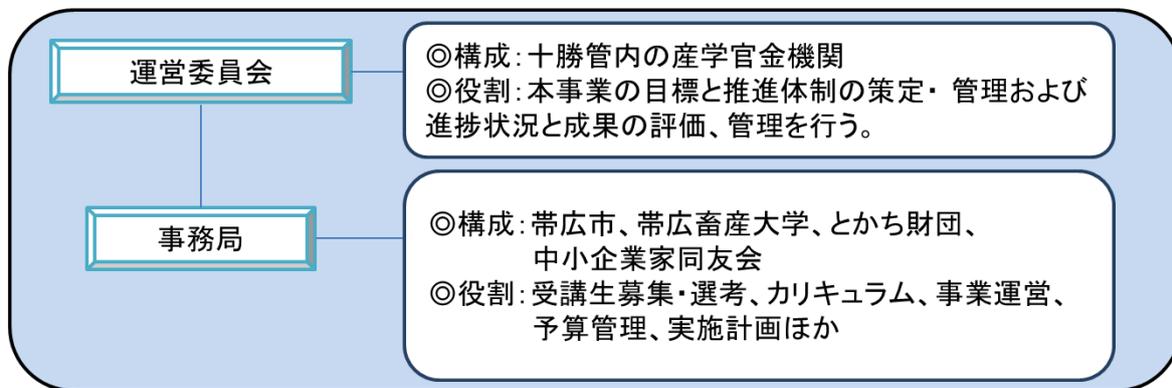
・平成 19 年度～23 年度に実施した、地域再生人材創出拠点の形成「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成」のノウハウを引き継ぎ、平成 24 年度より、帯広市・国立大学法人帯広畜産大学の共同事業として新たに「フードバレーとたち人材育成事業」を実施した。平成 24 年度は、募集定員 45 名に対して 47 名が修了した。また、自由選択講義プログラムを 6 回開催し、延べ人数で 244 名が受講した。

・平成 25 年度は、アグリ・フードビジネスプランコース、食品衛生管理コース、循環型経営コースの 3 つのコースを設け実施した。

## 平成 25 年度フードバレーとたち人材育成事業

- 目的： チャレンジ精神等を持って、企業経営、異業種参入、起業化、地域の経済発展に寄与する『リーダーシップ』を発揮する人材を育成する。
- 帯広市・帯広畜産大学共同事業（帯広市予算・大学予算・受講料を財源として実施）

### ○フードバレーとたち人材育成事業 事業運営体制



## 研修コースの概要

	入 門	応 用
アグリ・フード ビジネスプランコース	十勝の農畜産業の特徴・起業に必要な意識の習得	プロジェクトマネジメント手法・ ビジネスプラン作成演習
食品安全管理コース	食品有害微生物講習（初級）	食品有害微生物講習（上級）
	食品衛生講習（入門） 前提条件プログラムを中心に解説	食品衛生講習（応用） HACCPの構築とマネジメント
循環型経営コース	循環型農畜産業の考え方、畜産廃棄物の利活用、循環型農畜産業の経営の課題などについて解説	



フォローアップ制度：研修終了後に各修了生の事業化や課題解決を支援

特別講習：地域の課題解決に向けた講演を実施  
連携事業：4大学合同特別セミナー

○平成 25 年度事業実績

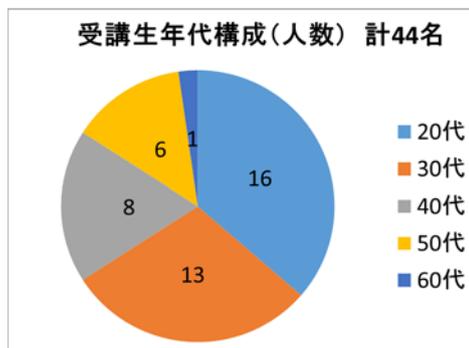
受講料の有無	コース・講習名	募集定員	受講生数	修了生数
有	<b>アグリ・フードビジネスプランコース</b>			
	アグリ・フードビジネスプラン講習【入門編】	10	9	9
	アグリ・フードビジネスプラン講習【応用編】	10	12	12
	<b>食品安全管理コース</b>			
	食品有害微生物講習【初級】	10	5	5
	食品有害微生物講習【上級】	6	2	2
	食品衛生講習【入門編】	5	6	6
	食品衛生講習【応用編】	5	10	10
無	<b>循環型経営コース</b>			
	自由選択講義プログラム		25	(※) 7
	<b>特別講習</b>			
	バイオマスセミナー		62	
	「自然を土台とした高品質乳製品の産業化」		38	
	食品安全マネジメントシステム		37	
	「バイヤーが求める生産管理体制と『安心・安全』の必須条件		21	
チーズ加工実習		9		
	平成 25 年度報告会		42	
<b>合計</b>			<b>278</b>	<b>51</b>

※循環型経営コース受講生のうち修了要件を満たした方の数

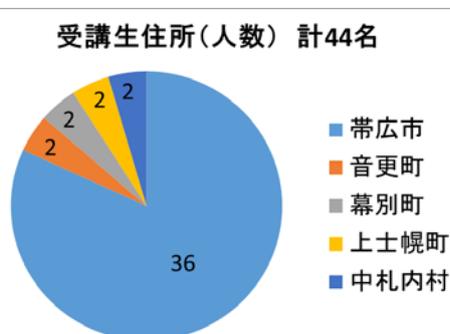
- ・受講参加企業、団体数 103 社、団体
- ・受講生男女比 男性 218 人：女性 60 人

以下、有料講習のみ

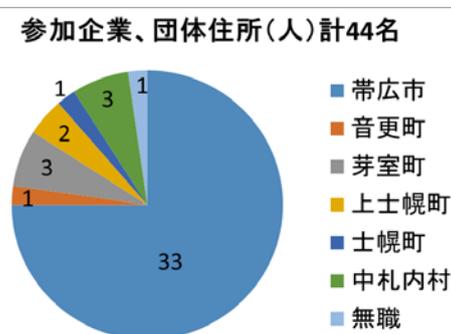
・年齢構成（平均年齢 35.2 歳）



・受講生住所（人数）



・所属企業住所（人数）



## フォローアップ事業実績

事業名	参加修了生数
ビジネスプラン実習	5名
知的財産権セミナー	5名
マーケティングリサーチ	1名

申込み5件中、3件を実施。

※チーズ加工についてのフォローアップ申込は、特別講習として実施した。

### ○修了生の活動状況

<事例1> 有限会社十勝リサイクル 竹原真介（平成24年度修了生）

十勝リサイクルの中で化粧石鹸製造を担当している竹原氏は、十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業修了生の鶉色ファーム鶉崎姿名子氏と連携し、鶉色ファームで生産しているラズベリーシードを活用した、化粧石鹸や入浴剤の開発を進めた。小ロットの製造による特殊な製法をもちい、国産ラズベリーシードを活用した化粧石鹸の事業化に至った。

<事例2> 有限会社中田食品 貴戸武利（平成25年度修了生）

アグリ・フードビジネスプランコース入門および応用編を受講した貴戸氏は、フォローアップ制度による知的財産セミナーの受講をとおして、事業展開に必要な商標登録を独自に3件申請した。また、(有)中田食品では、十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業コーディネーターコースにおいて北海道 HACCP 導入に関する取り組みを開始した。今年度、帯広市の支援を受け北海道 HACCP レベル6を達成し、次年度は北海道 HACCP 認証取得を目指している。

<事例3> 株式会社ノベルズ 緒方三華（平成25年度修了生）

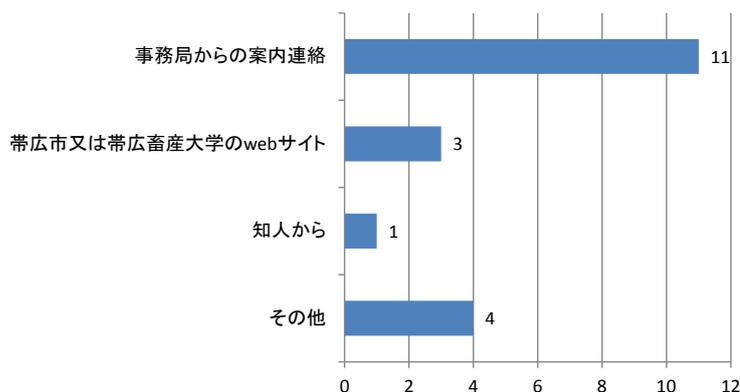
ノベルズグループでは、これまでに食肉販売に携わる(株)ノベルズ食品をグループ会社として立ち上げるなど高付加価値化に取り組んできた。同社からは、人材育成事業に2年連続で受講生を派遣しており、この修了生2名が中心となり、十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業修了生が所属している(有)スロウフードなどと加工品の開発に取り組んでいる。

<事例4> 株式会社十勝野フロマージュ 赤部順哉（平成25年度修了生）

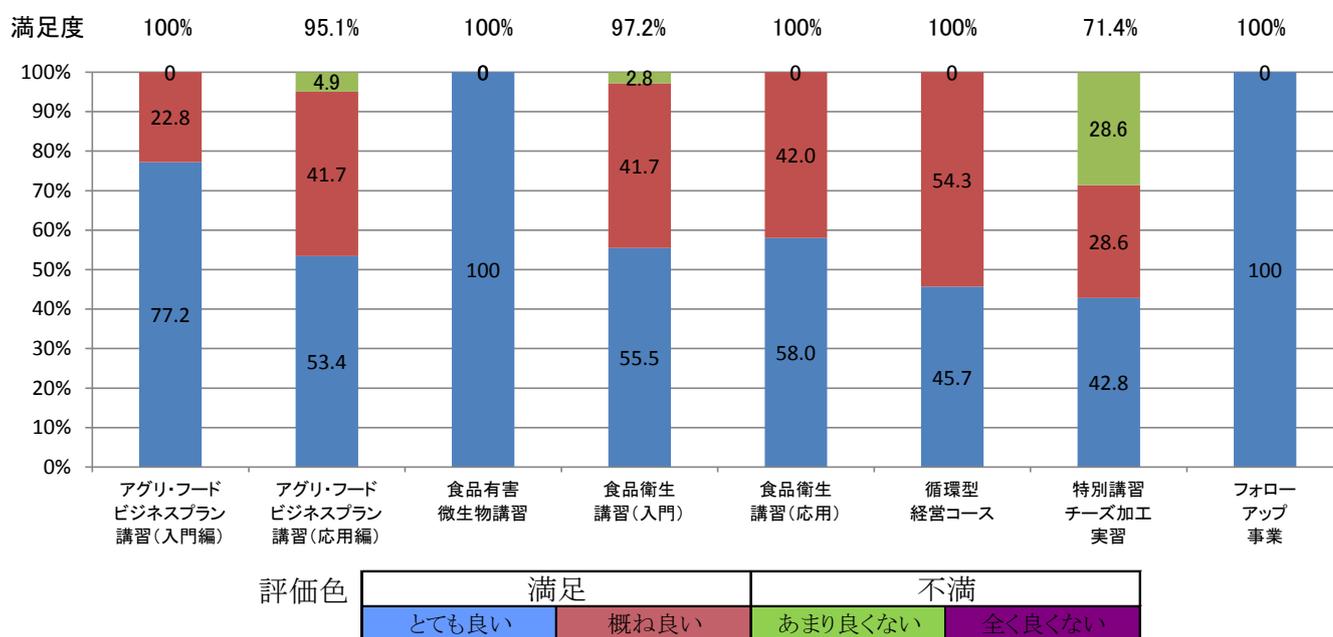
アグリ・フードビジネスプランコース入門および応用編を受講した赤部氏は、マーケティングリサーチの手法をつかい新商品開発を進めている。具体的には、消費者を集めたグループディスカッションを通じニーズの把握を行い、商品イメージの確立を試みている。

## ○アンケート結果

### Q1.当事業・各コースを知ったきっかけ



### Q2.各コースの満足度



### Q3.受講してよかった点(複数回答可)

